

F P まつもと通信

ちょっと得する「お金」や「資産形成」についての話題をお届けします。

ご挨拶

11月22日はいい夫婦の日です。

「おうち時間 野菜も愛も 育てます」

昨年のいい夫婦川柳コンテスト、いい夫婦大賞の川柳です。

外出などの制約も徐々になくなってきました。これからは外でも良い時間を過ごしたいですね。

お手元に保険料控除証明書は届いていますか？

保険料控除証明書は年末調整や確定申告に必要になります。再発行には時間がかかることがあります。もしお手元にない場合には早めにご連絡ください。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

11月30日は年金の日です。今年度の年金定期便からスマホで自分の見込年金額や繰下げ受給のシミュレーションができるようになりました。

高齢者、負担増へ

日本の社会保障制度は高齢者に手厚いと言われていますがこれからは少し変わっていくかもしれません。

75歳以上医療費2割負担に

10月から課税所得28万円以上かつ年金などの収入が一定以上（単身者：200万円以上、複数世帯：320万円以上）の約370万人（全体の約20%）が対象になります。

出産育児一時金、75歳以上も負担を検討

現在42万円の出産育児一時金を政府は大幅に増額する考えです。一時金は原則、現役世代が負担している健康保険、国民健康保険からまかなわれていることに対し、厚生労働省の審議会では、「現役世代だけでなく高齢者も含めた全世代で負担すべき」という意見が多く出たようです。

介護の給付・負担も見直しに

介護保険についても見直しが始まりました。介護給付費は制度が始まった2000年の3倍の10兆円超に。一定の所得がある人の負担を2割、3割に、要介護認定1，2の人の給付の見直し、多床室（相部屋）の室料負担などが見直しの検討に入っています。

少子高齢化によって変わっていく制度を見据えて準備をしていく必要がありますね。



F P 松本相談センター
ファイナンシャルアドバイザー
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250

090-8741-7358

info@fp-matsumoto.com

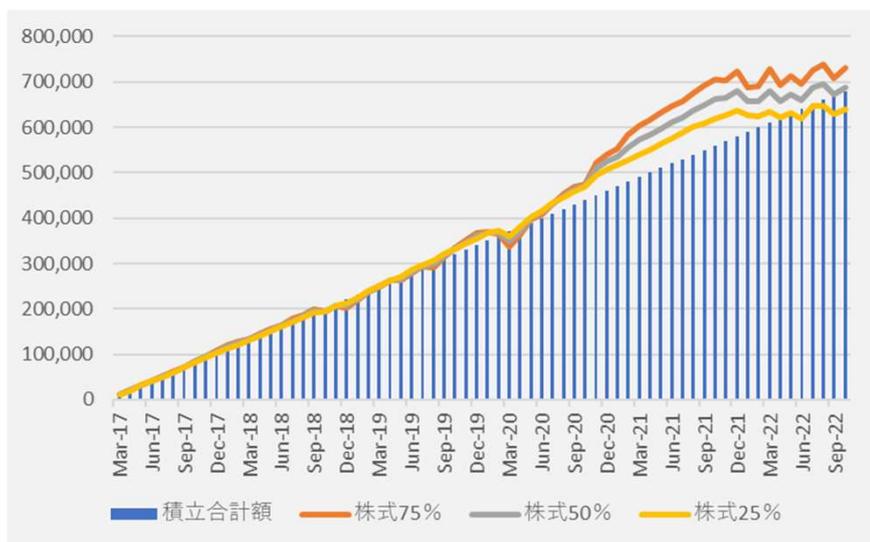
<https://fp-matsumoto.com>



2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。

国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2022年8月末	660,000	738,210	695,135	648,096
2022年9月末	670,000	708,725	672,322	629,484
2022年10月末	680,000	731,035	688,330	640,386

2017年3月から開始した積立投資は図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果につながります。

	日経平均		NYダウ		ドル円
8月末	28,091.53	1.04%	31,510.43	-4.06%	139.07
9月末	25,937.21	-7.67%	28,725.51	-8.84%	144.73
10月末	27,587.46	6.36%	32,732.95	13.95%	148.71

NYダウ、46年ぶりの上昇率

9月の大幅な下落とは対照的に10月は月間13.95%の大幅な上昇となりました。

月半ばには英国の新財務相が減税策の撤回など経済対策の見直しを発表したことで英財政への懸念が後退、さらに米国企業決算が比較的良好だったことを受け上昇に転じました。

月後半には米国で利上げペースを鈍化させる可能性についての報道があり大きく上昇しました。

こちらは10月初、9月の大幅下落を受けての新聞の見出しです。

「世界債券・株 価値44兆ドル減。減少幅最大GDPの半分。危機の芽、各国に拡大」

一方こちらは10月の大幅上昇を受けての記事の見出しです。

「10月のNYダウ上昇率、46年ぶり水準 利上げ幅縮小観測」

こうしてみるとニュースやレポートのほとんどが値動きと値動きの説明をしているだけだと気づきます。

長期の積立投資ではこのような記事に惑わされずに継続することが大切です。

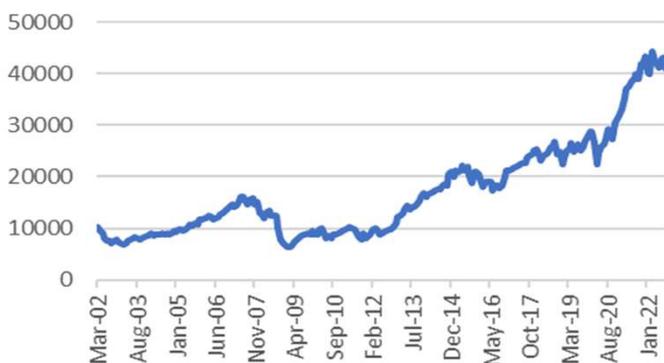
確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

- ・ 鎮静化しないインフレとそれに伴う金利上昇
- ・ いまだ不透明なロシア・ウクライナ情勢
- ・ 中国や北朝鮮などの地政学リスク
- ・ 米中摩擦
- ・ 32年ぶりの円安

など不安材料には事欠きません。ニュースなどを聞いていると不安を感じる人もいるのではないのでしょうか？

このような時は投資ファンドの運用レポートを見ましょう。

ここでは長期の積立投資で例としてよく使われる外国株式インデックスファンドを見てみます。



レポートを見るとまず最初に目に入るのは推移グラフではないでしょうか？

期間が長いグラフを見ると「こんなに上がっているんだ」と驚くかもしれません。また中には「こんなに上がっているならこれからは下がりそう」と感じる人もいるかもしれませんね。

次に目にはいるのは期間収益率の表です。どのくらいの率が期待できるのか気になるところですが企業業績は経済・社会環境の影響を受けるので期間によって良かった悪かったりします。できるだけ長い期間の数字を見るようにしましょう。

	6ヶ月	1年	3年	10年	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	-7.31%	5.33%	16.62%	15.48%	7.10%
ベンチマーク収益率	-7.28%	5.55%	16.98%	16.03%	7.76%

この商品は設定から20年経過しています。株式の長期の期待リターンはだいたい7%程度なので妥当なりターンだと判断できます。

もう一つ確認しておきたいのが実際に投資信託を通じて購入している投資先企業です。

銘柄名	ファンドのウェイト	国
APPLE INC	5.22%	アメリカ
MICROSOFT CORP	3.82%	アメリカ
AMAZON.COM INC	2.38%	アメリカ
TESLA INC	1.60%	アメリカ
ALPHABET INC-CL A	1.33%	アメリカ
ALPHABET INC-CL C	1.25%	アメリカ
UNITEDHEALTH GROUP INC	1.08%	アメリカ
JOHNSON & JOHNSON	0.98%	アメリカ
EXXON MOBIL CORP	0.84%	アメリカ
BERKSHIRE HATHAWAY INC CL B	0.78%	アメリカ

株価の動きは、短期では市場参加者の思惑による需給関係で決まりますが、長期ではその企業が生み出す利益に連動します。

つまりここに掲載されているような企業が今後も事業を継続し利益を生み出すのであれば株価は上がると考えて良い、ということになります。

過去●●ショックなどで大きな下落をしても必ず回復してきた理由もそこにあります。

株価はその時の経済・マーケット環境によって上がったたり下がったりします。しかしながらそのような環境下であっても世界の上場企業が利益追求活動を継続しているのであれば長い目で見れば心配しなくてよい、と考える良いのではないのでしょうか？

長期の積立投資では短期の値動きではなく投資先企業が成果を上げるのを待つという姿勢が大切になります。

値動きを解説するニュースなどで不安になったら運用レポートの投資先企業を確認してみてもいいのでしょうか？

ちょっと気になるお金のコラム

11月30日は年金の日です

「国民一人ひとり、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らす日」とあります（厚生労働省）。

そこで今回は誕生日に届く年金定期便から簡単に自分の年金額見込を見る方法を紹介します。

この方法は今年4月の年金定期便からできるようになっています。誕生日がまだの方は今年度の年金定期便が来たら是非確認してみましょう。

まずは年金定期便を開き右下のQRコードを読み込みます。

令和4年度「ねんきん定期便」50歳未満の方（表）

令和4年度の「ねんきん定期便」です。

日本年金機構
Japan Pension Service
〒168-8505 東京都杉並区高井戸3丁目5番24号
ご案内は内巻にあります。
失敬の方へ………はじめてご覧ください。

生年月日を入力すると現在の加入状況を基に60歳まで就労し65歳から受給した場合の見込年金額が表示されます。

ここで今後の年収額や就労年齢、受給開始年齢を変えるとグラフが変わります。

年収が同じでも就労年齢や受給開始年齢を変えるとグラフが変わります。例えば受給開始年齢を75歳にすると受給額は約1.8倍になることがわかります。

公的年金シミュレーター
ねんきん定期便があれば、バツと試算できる

ご要望は国民の皆様へ送ってください

基本情報の入力

生年月日 **必須**

年 月 日

下記についてご理解ください

- 試算結果や入力した生年月日等の情報は本サイトを離れると消去されます
- 詳細についてはQ&Aをご確認ください

試算する

あなたの年金見込み受給額

(万円) 153

60 65 70 75 (歳)

年金見込み受給額 65歳～……………153万円/年

今後の年収

415万円

就労完了年齢

60歳

受給開始年齢

65歳

*あなたの年金見込み受給額は生涯受給できます。

下にスクロールすると働き方・暮らし方の入力欄があります。

ここでは例えば60歳までは会社員、その後は自営の場合、とか30歳までは会社員、その後は専業主婦になった場合、など年金種類と加入期間による違いを確認することができます。

年収、加入する年金の種類、保険料を払う期間、受給開始年齢、によって年金額が変わることが視覚的に把握できるのはわかりやすいですね。

スマホひとつで将来の年金額の目安がわかれば老後資金の準備も具体的に考えやすくなるのではないのでしょうか？

具体的に自分の場合はどのように準備すればよいか確認したい方はお気軽にご連絡下さい。